

JA 東びわこ山菜部会で、リンドウ・ピーマンの現地巡回

5月25日にとリンドウとピーマンの現地巡回研修会を行い、生育状況の確認と今後の管理について指導しました。

彦根市鳥居本地区は中山間地で野生獣の被害に悩まされています。当課から被害を受けにくい品目として山菜を推進し、JA東びわこ山菜部会の22名がサンショウやタラ等を栽培してきました。一昨年からは不耕作地の解消と地域活性化を目指して、サル害を受けにくい品目としてピーマンの栽培を新たに開始し、学校給食向けに出荷しました。更に今年度は、中山間地向けの品目としてリンドウの作付けを推進し始めました。

現地巡回では、リンドウは土壌pHの計測と水管理状態を重点的に確認しました。土壌pH6.5以上のほ場では生育が弱かったため、pHを下げるための指導を行いました。ピーマンは排水対策と整枝および病害虫防除について指導を行いました。

リンドウはかん水を徹底し1年目の苗が夏越しして充実した株に仕上がるように、また、ピーマンはサル害の確認をしつつ早期の収穫につながるように指導を続けていきます。



リンドウほ場の土壌 pH を確認



ピーマンの整枝を説明する